

もうストレスに振り回されない?! 次世代健康素材CBDとは?

カンナビジオール



1 麻由来のポリフェノールで強力な抗酸化作用をもっています!

CBD(カンナビジオール)とは、薬用植物である「麻」(大麻草)にふくまれる天然の化学物質の一種です。体の恒常性(ホメオスタシス)を維持する上で有用な成分であり、自然由来の成分の中でも CBD ほどの効果が期待できるものは少なく、近年は海外でも非常に注目されている成分の一つです。

2 様々な疾患で研究が進んでいます!

CBD(カンナビジオール)は、世界で最も使われている医学・生物学系の学術データベース「MEDLINE(メドライン)」によると、動物やヒトの臨床試験を実施して論文になったものが約 100 疾患あり、今後の研究に期待がかかっています。

-2-

3 厳格な審査で有効性と安全性が認められています!

ataracia の CBD(カンナビジオール)は、「麻」の茎から抽出した貴重な成分であり、大麻取締法の規制対象である THC(テトラヒドロカンナビノール)のような精神作用を引き起こす成分は一切含まれていません。そのため法律規制対象外の安全な商品です。

CBD の安全性とは?

CBD は、2016 年 2 月に世界保健機関(WHO)の厳格な審査を経て、その有効性と安全性が認められました。世界アンチドーピング機関(WADA)においても、CBD は無害であるとの見解が発表されており、ドーピング検査の対象リストからも外されています。また、自然由来の成分のため薬品と違い、飲み合わせなどで悪影響を及ぼす心配がありません。そもそも、副作用のない成分なので安心して摂取していくだけです。



なぜ、ataracia が注目されるのか?

昭和大学薬学部教授監修



ataracia ブランド監修者

昭和大学薬学部 佐藤 均 教授

東京大学薬学系研究科(製剤学教室)修士課程修了後、金沢大学薬学部助手、富山医科薬科大学附属病院薬剤部助手、アメリカ国立衛生研究所(NIH)・癌研究所(NCI)にて奨励研究員、スイス・バーゼル研究所(Sandoz Pharma)にて客員研究員を経て、東京大学医学部助教授となる。平成 12 年から昭和大学薬学部教授(臨床分子薬品学教室)。

【所属学会】日本薬学会(1983 年～現在)・日本薬物動態学会(1985 年～現在)・日本病院薬学会(1993 年～現在)・日本臨床薬理学会(1995 年～現在)・日本医療情報学会(1996 年～現在)・日本薬剤学会(1997 年～現在)・日本 TDM 学会(1999 年～現在)・日本薬剤疫学会(2000 年～現在)・International Society for the Study of Xenobiotics(2001 年～現在)

創業 95 年の老舗がこだわり抜いて国内製造

昭和大学薬学部佐藤均教授監修の下、商品開発を行い、厚生労働省の許可を得て正式なルートでのみ輸入した CBD(カンナビジオール)を使用しています。また、品質にこだわった安心の製造管理。工場での製造過程では、第三者機関の検査を含む二重三重のチェック体制を整えています。



-3-